

江東区

特別区長会が特別区全国連携プロジェクトの実施を決定したことをきっかけに、江東区は北海道オホーツク町村会(15町村)と連携事業を展開してきました。特別区長会が北海道町村会と広域連携協定を締結する前年(2015年)にオホーツク町村会から江東区に対し、連携事業実施の要望が寄せられて連携がスタートしました。北海道一の森林面積と木材・木製品出荷額を誇るオホーツク地域の特性を生かすため、木材の流通基地がある江東区を連携先に選定されたそうです。以後、江東区内の各種イベントへの参加や単独での魅力発信イベントの開催、区内商店街との交流など、町村会として事業を行うほか、個々の町村においても工夫を凝らした事業を江東区内で展開してきました。

■「北海道ドラゴンボート競技会」へ区民チーム派遣

北海道大空町で開催される「北海道ドラゴンボート競技会」にスポーツ交流のモデル事業として、江東区内のカヌークラブの協力を得て、区民チームを派遣しました。現地では競技会参加のほか同町の各種施設を視察するとともに、スポーツ推進員(町民)との交流を図りました。



ドラゴンボート競技会でのスポーツ交流



■「オホーツクフェア2020」開催

オホーツク15町村が、流氷やクリオネ、動物の毛皮などの展示やフロアカーリング、バードコールづくりなどの体験コーナーのほか、各町村の特産品の販売等を行い、北海道オホーツクの魅力をPRしました。

オホーツクフェア2020の様子



上記事業の 連携自治体

「北海道ドラゴンボート競技会」へ区民チーム派遣

北海道大空町

「オホーツクフェア2020」開催

北海道(大空町、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、佐呂間町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町)